



## 顎変形症

～ 手術を伴う歯科矯正について ～

### はじめに

「歯科矯正ってお金がかかるなあ」と思っている方も多と思います。しかし、保険が効く歯科矯正もあるのです。それは、顎変形症という疾患のときに行う、手術を伴う歯科矯正です。

### 顎変形症とは？

通常、噛み合わせが悪い患者さんは矯正歯科を受診すると思います。そして矯正歯科医は歯を動かして、きれいな噛み合わせを作ってくれます。しかし、いくら歯を動かしてもきれいな噛み合わせが作れない場合があります。それは歯が植わっている土台、つまり上下の顎の大きさや位置に異常があるときです。この場合、顎変形症という病名になります。顎変形症と診断された場合、土台である顎の骨を切って正常な位置に移動する必要があります。実は口腔外科でもこの顎変形症の手術を行っています。通常の歯科矯正は自費診療ですが、顎変形症であれば術前・術後の矯正も含めて保険診療が可能となります。

### 診 断

すべての患者さんが手術適応になるわけではありません。まず、顎口腔機能診断施設の認定を受けた矯正歯科医院を受診し、検査の結果「顎変形症」と認められる必要があります。

### 治 療

顎変形症と診断されてもいきなり手術は行いません。矯正歯科で術前に歯の位置を整えておく必要があります。この術前矯正を半年から1年ぐらいかけて行った後に手術となります。手術は、術前矯正を行った矯正歯科と提携している口腔外科病院で行います。全身麻酔下で口腔内から顎の骨を切り、顎の位置を正しい場所に移動させ、チタンのプレートとネジで固定します。チタンの固定装置は、顎が固まってから取る場合とそのままにしておく場合があります。

入院はだいたい1～2週間です。術後も微調整のための矯正が必要で、その後も保定といって噛み合わせを安定させるための装置を装着します。そのため、顎変形症の治療では3～4年の期間が必要になります。

### 治療のメリット

治療を行うメリットは金銭的な問題だけではなく、顎変形症の治療では悪い噛み合わせだけでなく、外科的に顎の位置を変化させるために顔の形も改善されます。また、顎に大きなズレがある噛み合わせを歯科矯正だけで治そうとすると歯や歯茎に負担がかかります。そのため歯茎が下がり、神経が死んでしまい歯の寿命が短くなってしまいます。顎の手術を行うことによって歯を無理に動かさずに歯並びを治すことができます。

### おわりに

「噛み合わせが悪い」とお考えの方は、一度、歯科口腔外科もしくは矯正歯科を受診してみてください。場合によっては保険治療で歯科矯正ができるかもしれませんよ。

### －筆者紹介－

おおつる みつぶ  
大鶴 光信

1974年生まれ、神奈川県出身。

1999年 東京歯科大学歯学部卒業

東海大学医学部外科学系歯科口腔外科 准教授。

東海大学医学部附属大磯病院 歯科口腔外科所属。  
歯学博士。

日本口腔外科学会専門医・指導医。